

クラブで学んだ「なぎなた」でインターハイに出場 ～クラブから国体選手輩出へ高まる期待～ (屋島UROスポーツクラブ・香川県高松市)

1. クラブの会長は「なぎなた」の範士

現在、クラブの顧問(前会長)で、中学部活動で長年にわたり、なぎなたを指導してきた松尾綾子氏は、「子どもも高齢者も誰もが気軽にスポーツできる場が、身近な地域に必要なではないか」という思いを持ちクラブを設立されました。

クラブには、なぎなた、剣道、卓球、バドミントンなどの種目がありますが、なかでも、なぎなた教室は、昭和30年に稽古を始めた「浦生なぎなたクラブ」が元になっています。範士の松尾綾子先生をはじめ、錬士の杉下良子先生、熊野明美先生といった指導者が、幼児・小・中・高校生、一般に至るまで幅広い年齢層に対して、健全なる心と体の修練を理念に指導しています。

◆なぎなた範士 松尾綾子先生のご紹介◆

大正15年香川県高松市屋島西町生まれの84歳。
女学校卒業後、薙刀の専門学校

(京都女子武道師範養成所天道義塾)で学ぶ。
山口県で薙刀教師として教職に就いたが、終戦で武道・薙刀が禁止となり帰郷。昭和27年に武道が復活し、香川で薙刀の指導に当たり、現在に至る。

昭和31年香川県なぎなた連盟結成に参画。同理事長、全日本なぎなた連盟理事などを歴任。公認なぎなたA級スポーツコーチ、第一種なぎなた公認審判員などの資格を持ち、現在、香川県なぎなた連盟副会長を務められている。



2. なぎなた＝「老いたるは更に美しい」

この道場から巣立っていく子どもたちは、誰もが礼儀正しく、自他共に認める忍耐力のある人物に成長しているそうです。昨年は、インターハイに出場した選手がいます。(※下記HP抜粋参照)
なぎなた教室では、約20名の会員が研鑽を積んでおり、今後、クラブから国体選手が輩出される期待も高まります。なぎなたの修練によって仁義礼の徳を積み、和淑凜の心構えを身につける「老いたるは更に美しい」＝皆さんもなぎなたで美しく歳を重ねてみませんか!



平成21年度かがわ生涯スポーツフォーラム なぎなた演武

3. 異種武道交流「スーパー武道」も魅力

なぎなたや剣道のエリート選手との交流もできる、異種武道交流試合「スーパー武道」はとても面白いです。剣道VSなぎなたではどちらが強い?という興味を抱いてしまうのはもちろん、香川大学剣道部VSなぎなた国体チームといったトップレベルの試合を間近で観戦できるのは、屋島UROスポーツクラブならではの魅力です。



スーパー武道

(大山晶子 香川県クラブ育成アドバイザー)

【屋島UROスポーツクラブ プロフィール】

1. 設立

設立年:平成18年2月12日

経緯:松尾氏は設立準備期間から4年間会長を、住民であった香川大学の野崎教授がチーフマネジャーを務めた

2. 地域

人口:約16,200人(屋島西町)

特性:屋島地区は、高松市のシンボルである屋島の麓にあり、源平合戦「屋島の戦い」の舞台となった古戦場として知られ、弁慶が薙刀を持って戦ったという奮闘記も残る

3. クラブ

会員数:250名 予算規模:約90万円

4. 連絡先

〒761-0113 香川県高松市屋島西町281-1

TEL:087-841-3044 FAX087-832-1496

Email: nozaki@ed.kagawa-u.ac.jp URL: http://www.geocities.jp/uro_sport/